

③② 鳥屋市不動堂

鳥屋市田尻にある入母屋造りの木造瓦葺きの建物です。一辺が3.6mと非常に小さなお堂で、本尊として不動明王が安置されています。創建年代は江戸時代中期と考えられています。地域の人々の信仰の場となっており、大切に護られています。

豆知識

入母屋造り：屋根の形式の1つです。上部は切妻造りのように二方へ勾配をもち、下方は寄棟造りのように四方へ勾配をもつものをいいます。寺院などに多くみられます。



関の文化財探訪

その 18

関の「文化財」を紹介します。

照会先 文化財保護センター ☎46-2313

③③ 不動堂の石幢

鳥屋市不動堂の脇にひっそりとあります。高さ109cm と小さなものです。石幢の祖型は中国の唐代の「経幢」に求められますが、日本に入ってきた後、日本風にアレンジされて今の形になりました。不動堂の石幢は笠と六角形の幢身からなる単制と呼ばれる形式のもので、江戸時代に造られたものと考えられています。幢身の上部には六地藏が彫られています。

【アクセス】 上之保地内巡回バス〔鳥屋市・行合方面〕「田尻」下車、すぐ。
東海環状自動車道・富加関 IC から上之保方面へ車で約40分

